

北秋田地区

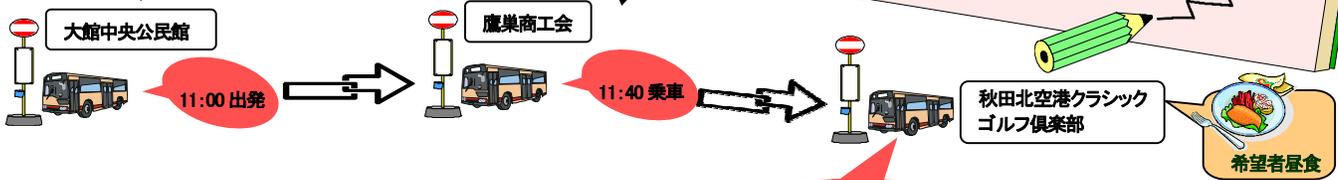
企業見学会・交流会

7/19(水)

1. 秋田扶桑精工株式会社
2. 東洋精箔・株式会社秋田工場
3. 森吉山ダム

秋田北空港クラシックゴルフ場 昼食
1,000円(税込)

交流会 クウインズ森吉
3,000円(税込)



秋田扶桑精工株式会社

13:00~14:00

1947年ガラス型の専門業者として創業。ガラスびん用金型に関し鑄鉄材料の内製から製びんの機械の製作まで一貫して製造と開発。1960年頃からプラスチック・フロー成型金型に着手し、1980年頃には、キャップなどの射出成形金型にも進出。その後、自動車部品などのプラスチック金型でも実績をかさね、業界に珍しく、多分野の金型を5工場で各地域の需要に合わせて製作している。

秋田工場は1986年相模原工場のびん用金型部門の一部を受け継ぐ形でスタート、ほぼ同時にガラスびん金型専用の鑄造工場を操業、材料から完成品まで一貫生産することで短期化に威力を発揮。社内で金型材料を生産する強みを生かし、随時材質の改善に取り組んでいる。金型加工部門は、長時間無人加工を実現している。

東洋精箔・株式会社秋田工場

14:00~14:50

1968年創業。あらゆる金属の極薄箔延技術を基幹とした、超薄・広幅等の冷間圧延金属箔のトップメーカー。最近では躍進著しいIT分野へ高精度、高品質材を提供。20段圧延機12段圧延機、4段圧延機を主力機械としている。

秋田工場では20段冷間圧延機、12段圧延機などを備えた3工場が操業。製品は、ハネ材(各種スイッチ、接点ハネ、ゼンマイ)、導電材(回路基盤、コネクタ、電池などのリード材)、振動材(スピーカー、プザーなどの振動板)、センサー材(血圧計・火災報知器・エアバック等のダイヤフラム)、発熱材(機器の余熱・保温用ヒーター、バイメタル)機構材(時計・カメラ他各種精密機器の部材、内視鏡のスパイラル管)など多岐にわたって使用されている。設備の全てをコンピュータで制御している関係上、常に安定した電力を確保する為、常時500kW×3機、1500kWの自家発電機で各設備に供給している。

森吉山ダム

15:30~17:00

岩石や土砂を積み上げて造る「中央コア型ロックフィルダム」

2004年6月本格的にダム本体盛立工事に着手し、洪水調整、既得水の安定供給と河川環境保全のための流量確保、かんがい用水の補給・水道水の補給(1日最大9,500m³の水道水の供給)・発電(最大10,600kw)を目的とした多目的ダムとして2011年の完成を目標に建設中。

「発注者と受注者をつなぐ」といわれるCM方式(コンストラクションマネジメント方式)を日本で初めてロックフィルダムにおいて試行。

交流会まで



見学のみの

解散

18:30頃

各地へ

集合場所のゴルフ場に戻ります

7/19
金
締切